

令和 6年 8月 30日

## 令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

広島県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
神石インターナショナルスクール	広島県教育委員会	私立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報※必要に応じて行を追加すること。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・ 計画通り実施できている
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・ 実施している
- ・ 実施していない

<特記事項>

保護者に対しては、毎月の学校だより、週一回のSNS、子どもの学習成果等を共有するデジタルポートフォリオを使用して、本校カリキュラムへの理解を深めている。近隣住民や町内のNPO、施設等と連携をとるだけでなく、地元の少年サッカーチームとの交流試合などを通して、本校への理解及び支援をいただいている。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

本特例は、日本初の小学校全寮制インターナショナルスクールとして、世界で活躍する小学校段階におけるグローバル人材育成のためのカリキュラムを実施している。英語を学ぶだけでなく、理科や社会、算数の一部を英語で学んでいる。4年目になり、さらにIPCと学習指導要領の統合を目指し、同時にICA(International Curriculum Association)のIPC(International Primary Curriculum)のクレディテーション校として認定されるよう学校行事、学校掲示物、施設、教職員の研修のあり方等を含めて学校全体で取り組んでいる。

今後の課題は、学校としての枠組みの中身を充実させていくことである。教職員の質の保持・向上のための学校方針や研修などの計画と実施をし、学校としての文化形成をすることで、より良い教育を子どもたちに提供したい。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

学校教育の目標である社会の形成者として、本学では寮で育まれた自立心、自主的な学びに対する意欲等が育むカリキュラムを実施してきている。また、自然豊かな環境の中、思いっきり遊ぶことができ、さらに季節の織りなす景色や空気を感じることができることで健康な心身の成長の一助となっている。

4. 課題の改善のための取組の方向性

今後に向けて以下のような方針で改善をはかる。

- カリキュラムの充実  
外部評価を計画的に取り入れ、本校のカリキュラムが機能しているかの確認を行う。また、IPCの正式認定校に向けて要件をみだし、より学習指導要領とIPCが統合されたカリキュラムを実施する。
- 学校文化の形成  
児童、教職員がJINISにおける行動規範などを意識し、人間関係の築き方、コミュニケーションのあり方など質の高いレベルを保持する。
- 人材確保  
より良い人材確保を目指し、計画的に人を獲得できる仕組みづくりを目指す。
- 勤務環境の充実  
本学にいる児童も教職員も心地よくかつ緊張感を持って過ごせる学校として、働き方の見直しや研修の充実などを行う。